

ウェブアクセシビリティの確保に関する特記事項

1 目標とする適合レベル

JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠すること。

本仕様書における「準拠」という表記は、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「ウェブコンテンツの JIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン 2021 年 4 月版」で定められた表記による。

2 適合する達成基準

レベル A およびレベル AA 全て。(詳細は「山口県目標達成基準」のとおり)

3 対象範囲

本業務で制作するウェブサイトのすべてのページ

ただし、下記項目については対象範囲から除く

1. Google のサービスを使用しているコンテンツ
2. YouTube のサービスを使用しているコンテンツ
3. Facebook、X、Instagram などの SNS のコンテンツ
4. PDF 等添付ファイル

4 依存するウェブコンテンツ技術

HTML5, CSS3 及び JavaScript 1.8.5

5 確認の実施

HTML、CSS の雛形作成段階において、受託者にて達成基準への対応状況の確認を実施すること。ツールによる判定が可能な検証項目については、ツールを用いた上で、そのツール名を記録すること。

6 試験の実施

納品前に JIS X 8341-3:2016 に基づく試験を実施すること。受託者は試験結果について委託者に説明を行い、その了承を得ること。

試験の実施においては、ツールによる判定だけでなく、人間による判断も行うこと。

7 試験の対象範囲

JIS X 8341-3:2016 の「JB. 1.2 ウェブページ一式単位」とし、「d) ウェブページ一式を代表するウェブページとランダムに選択したウェブページとを併せて選択する場合」にある方法を用いて、両方を合わせて 40 ページを選択して試験を実施すること。

なお、ページ数の内訳は以下の通りとする。

- ・ウェブページ一式を代表するウェブページ：15 ページ
- ・ランダムに選択したウェブページ：25 ページ

8 達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠（実装チェックリスト）の作成

ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン 2020 年 12 月版」の「3.1 達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠を示す方法の例」を参考にして実装チェックリストを作成すること。

9 達成基準チェックリストの作成

ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン 2020 年 12 月版」の「3.2 達成基準チェックリストの例」を参考にして作成すること。

10 成果物

適用する達成基準の要件を満たすウェブコンテンツ一式

適用する達成基準の要件を満たすことを示す試験結果資料

- ・実装チェックリスト
- ・達成基準チェックリスト